

指定管理施設事業評価票(令和6年度分)

1. 施設所管課 地域振興部 栗山行政センター

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	自然体験交流センター「安らぎの森四季」					
	所在地	日光市湯西川1878-3					
指定管理者	名称	安ヶ森管理組合					
	代表者名	阿部 信昭					
	住所	日光市湯西川1135					
指定期間		令和3年4月1日		～	令和8年3月31日	5	年間
選定方法		公募 ・ 非公募		評価実施年		5年間のうち 4年目	
施設設置目的		森林体験及び都市との地域の交流促進の場を提供することにより、本市の林業振興と地域の活性化を図り、観光、保険休養及び文化の向上に寄与する施設。					
主な実施事業		センターの使用許可、運営及び利用料金に関する事業 付帯設備の維持管理事業					

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和〇〇年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	利用者数	人	650	256	650	562	650	785	650	476		
b												
c												
d												
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況 (単位:円)

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和〇〇年度
収入計 A		639,410	639,315	640,150	632,600	0
	指定管理料	442,000	48,154	0	0	
	利用料収入 C	80,410	289,050	271,060	443,840	
	自主事業収入	117,000	284,426	369,090	188,760	
	その他	0	17,685	0		
支出計 B		765,500	866,988	1,576,240	1,663,216	0
指定事業費		754,500	832,354	1,529,519	1,569,288	
	内人件費 D	720,000	770,000	1,078,500	1,093,500	
	内外部委託費 E	0	0	0	0	
	自主事業費	11,000	34,634	46,721	93,928	
事業収支 A-B		-126,090	-227,673	-936,090	-1,030,616	0
人件費率 D/B		94.06%	88.81%	68.42%	65.75%	#DIV/0!
外部委託比率 E/B		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	C
② サービスの 質の 評価	施設管理	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
		協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	C
	利用者対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
	緊急対応	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B
		避難経路が適切に確保されている。	B	B
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
事業運営	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B	
	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B	
維持管理	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B	
	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B	
③ 安定性	環境配慮	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
	広報活動	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	苦情等対応	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	利用者アンケート	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	利用状況	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
		利用実績は、目標水準である。	B	B
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	C
	経費削減	経費が削減され、又は削減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	C
所見 (成果・課題等)		(指定管理者自己評価)		
		集客が見込める時期が大型連休に集中しているため、ホームページ等を活用し利用者の増加に努めたい。		
		(所管課評価)		
		経費削減に努めているが、物価高騰の中であるため適正な予算書の作成・執行を目指す。		
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。